

豊橋 特別養護老人ホーム 大清水彩幸 施設だより

大清水彩幸 特養



新たな1年を迎え、入居者の皆様も書初めを行なった...



豊橋・大清水 彩幸 特別養護老人ホーム グループホーム

豊橋 グループホーム 大清水彩幸 職員だより 「イベント満載! 年末年始」

クリスマス会

今年のクリスマス会は、職員だけでなく、入居者様もサンタ...



年末と言えば...

やっぱり、大掃除です! 毎年、家でやっていたというベテラン...



今年も宣しくお祝い致します。

お正月といえば、新年祝賀会! 今年も、お屠蘇や甘酒を用意...



豊川 彩幸

豊川 ケアハウス豊川 彩幸 職員だより 「よく食べ・よく寝て・よく笑う」

コロナ禍で入居者の方がどのような思いで生活をされているか、インタビューさせていただきました。



他の入居者の方も同じような思いですので、健康でお身体を大切に過ごしていただきたいと願っています。

豊川 デイサービスセンター豊川 彩幸 職員だより 「~豊川彩幸アートコレクション~」

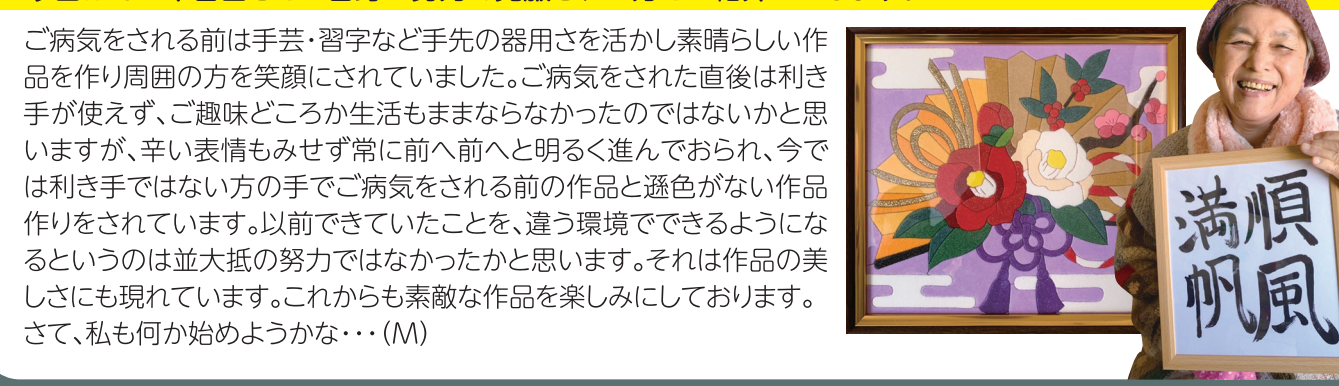
今年度もデイサービスでは利用者様に様々な作品を作っていただきました。



豊川 居宅介護支援事業所豊川 彩幸 職員だより 「利用者様のご紹介」

皆さんは利き手とは逆の手で生活をされたことはありますか?

今回はその不自由さをご自身の努力で克服された方をご紹介します。



ご病気をされる前は手芸・習字など手先の器用さを活かし素晴らしい作品...



新型コロナウイルスが再び猛威を振っています。変異を繰り返し、収束の兆しはありませんが...

高齢者でお困りごと、入居・利用の相談等、お気軽にお問合せ下さい。

仁志

人はそれぞれの個性を持って生まれ ひとりとして同じ人生を歩む人はいない...

社会福祉法人 豊生会 彩幸 https://saikou.or.jp/

「マスクの中いつもの笑顔で」



令和元年12月から新型コロナウイルスが世界に感染拡大し、丸2年が経過しました。

ウイルス「オミクロン株」が出現し、今年2月には全国で新規感染者数が9万人を越えるなど、一気に感染を挙げました。



豊橋(西赤沢) 彩幸 特別養護老人ホーム...

豊橋(大清水) 彩幸 地域密着型特別養護老人ホーム...

豊川 彩幸 経費老人ホームケアハウス...

豊橋 特別養護老人ホーム 彩幸 施設だより 彩幸神社



年末から、新型コロナウイルス感染症第5波の勢力にも衰えが見られるようになり、入所者様も職員も、今年は少しほっとした気持ちで新年を迎えることができました。しかし、寒さ厳しく、新型コロナウイルス感染症第6波の襲来も心配され、まだまだ気が抜けません。そのため、特養フロアに『彩幸神社』を設置しました。手作りの賽銭箱に手作りの賽銭、勢いよく鈴を鳴らして手を合わせ、各々今年一年の祈願をしました。そして、参拝の後はおみくじ!「中吉・新しいことに挑戦しましょう」「大吉・たくさん笑うと健康でいられます」皆様笑顔で引いたおみくじを読まれ、楽しい新年の幕開けとなりました。

豊橋 居宅介護支援事業所 彩幸 職員だより

美代子さんとの出会いは、2020年の早春。美代子さんが大病をして4カ月の入院を経て退院するときに担当のケアマネジャーとしてご縁をいただきました。毎月の訪問では、季節の草木花々が生けてある玄関から、長女さんと一緒に仲良く笑顔で出迎えてくださいます。

美代子さんは豊橋市寺沢町の生まれ。幼い頃から祖母や母がやっていたことを自然とするようになって教本もなく覚えたという手編みから機械編みにもはまった時期があるそうです。高校から始めた茶華道は結婚してからもずっと続けてきて、市民館で20年以上も教えました。

「寝付いていたけれど、義母にもたくさんのことを教わった。茶華道だって『たしなみ、だった。』とさり。義母の介護から波及した社協のボランティア活動に長きに渡って関わったとして賞状をいただいて、他にも小学校に出向いて観賞用の菊づくりをしたり...、次々新たに聞く『たしなみ、』が出てきてびっくりさせられます。

入院で思うように身動きできなくなったと悲観することもなく、あれもできる、これもやってみよう!と前向きな姿勢は変わりません。それを支えるご家族もやはり美代子節、を受け継いでおられます。

退院してようやく短歌俳句講座に参加することができました、と詠んだ短歌。



冬の空 仰ぐ大木 葉を散らし
堅きつぼみは 春を夢見る

豊橋 彩幸 特別養護老人ホーム ショートステイ

豊橋 ショートステイ 彩幸 施設だより 彩幸 縁日



緊急事態宣言が明け、何か利用者様と楽しめるものはないかと職員が考え出したのが、『彩幸 縁日』。

10月18日の午前の部としてショートステイにて開催されました。ボールすくいならぬアヒルすくいや魚釣り。点数をみんなで競うお手玉投げ、女性限定のお化粧品コーナーと盛りだくさんの催しに活気が溢れていました。最後に職員によるAKB48のフォーチュンツッキーの曲に合わせてダンス披露!!

可愛らしい姿に利用者様の手拍子が鳴り響きました。職員・利用者様ともに笑顔が溢れっぱなしの日となりました。

豊橋 彩幸 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター

豊橋 彩幸地域包括支援センター 施設だより 生活介護支援サポーター養成講座開催

令和3年10月14日、昨年に続き生活介護支援サポーター養成講座を開催しました。コロナ禍の中で受講の申し込みがあるのか、感染予防対策をきちんと行えるか不安を抱えながらの準備でしたが、18名の申し込みがあり(昨年に続き再受講を希望された方も!)安堵しました。高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい。そんな思いを支えるのが生活介護支援サポーターです。そのためにサポーターの意義、地域包括ケアシステムから学びを開始。地域の支え合い活動、地域の安全を守るための活動(豊橋警察署)高齢者医療について、高齢者疑似体験、紙おむつを実際に装着してみる、人生の終末を考えるエンディングノートの記入と全6回の講座で収まりきれないほどの講義内容でした。



目を輝かせて講義を聴講されていた受講生の皆さんが講座終了後に生活介護支援サポーターとして地域の中にいることはとても心強いことです。実際、昨年受講してサポーターとなった方が一人暮らしの高齢者宅に話し相手として訪問するボランティア活動をされています。高齢者が暮らしやすい町はすべての住民にとって住みやすい町になっていきます。お互いが支え合える、そんな地域の中で彩幸地域包括支援センターも一緒に歩んでいきたいと思っています。

豊橋 ケアハウス 彩幸 職員だより ~ケアハウス 日々雑感~

コロナウイルス、しづといですねぇ。いつになったら退散してくれるのやら?



神藤さんは塗り絵。さまざまな図柄をちよつとずつ塗っているようで「これ新作」と、ときどき見せてくださいます。

大野さんは脳トレの本に取り組んでいる毎日。先日は、問題に夢中になるあまり「あっ!お昼食べるの忘れてた!」には苦笑してしまいました。

もうすっかりマスクの生活は板につき、顔半分のお化粧にも慣れてしまい...。ある日の新聞に載っていました。“コロナウイルスとかけて汗かきの先輩ととく。その心は、感染(汗腺)の広がり異常です。”うまい!と膝をたたいて、もう笑い飛ばしたいところですが、次々とあらわれる変異株には十分注意しなければなりません。行事やクラブの開催もままなりません、それぞれお部屋で楽しんでいられる方もいらつやいます。



豊橋 彩幸 特別養護老人ホーム ショートステイ

豊橋 彩幸 ケアハウス デイサービスセンター

豊橋 デイサービスセンター 彩幸 職員だより



高柳アイ子様
お誕生日
おめでとうございます。

●祝100歳
「くす玉」にビックリされていました。これからもお元気でデイサービスへ来て下さいね。

●家族会様より
12月「お楽しみ会(忘年会)」にてボンとらやのデコレーションケーキを頂きました。

●新年あけました情報

2022年初めのレクリエーションは、初釜を行いました。ご自分でお抹茶をたてて大清水町の「松鶴園」さんのお菓子と一緒に頂きました。「昔習ったけど忘れちゃった」と言われながらもさすが先輩方! 美味しく上に上がりました。

●彩幸農園収穫情報

大根が立派に育ちました。煮物におでん、寒い時期には最高(彩幸)です。

